

資格サポートコーナー ～資格対策講座のご案内～

大阪工業大学では、資格取得・進路支援を行う課外講座として、**■2026年度開講予定講座一覧**
学生のやる気を伸ばし、将来へのビジョンを明確にする
様々な講座を開講しています。

今年の4月で資格サポートコーナーは15年目を迎えます。2025年度は昨年度に引き続き、課外講座はeラーニングを中心に実施しましたが、動画視聴だけでなく、一部フォローアップを目的とする対面授業をブレンドした受講形態に変更した講座を追加し、年間延べ200名が課外講座を受講しました。受講生の半数以上を占めたのが、1年次・2年次であり、「自分は何をしたいのか」「どのような分野で、今後どのようにして活躍したいのか」という将来へのビジョンを見据えた大学生生活を過ごしたいという積極的な資格取得への意識を大きく感じられた1年となりました。

大学生活の4年間は学ぶことも多く、あっという間に経過してしまいます。3年次で就職活動が始まってから資格の取得を意識し始めるのではなく、しっかりと自分のキャリアプランを立て、それに向けた計画的な学習が事前に行えるよう共に考え、それらを確実に証明する為の手段として、また学生一人ひとりのやる気を伸ばすきっかけとして、専門的な知識を活かせる幅広いラインナップをご用意し、それぞれの学生の意向に沿った資格の取得を薦めています。資格取得までの過程においてはもちろん、その後の更なるステップアップまで、専任のスタッフが全力で学生の皆さまをサポートいたします。また梅田・天王寺の学外スクールと連携し、受講可能なラインナップが拡充しております。詳しくは資格・公務員対策講座ガイドをご確認ください。学外スクール「資格とキャリアのスクールnoa」にて大阪工業大学在学価格で受講いただけます。今後のご子息・ご息女のご活躍のため、資格に向けての取り組みにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一部の資格対策講座は、**本学の卒業生ならびに
在学生・卒業生のご家族も在学料金で受講いただけます。**
皆さまの更なるスキル向上、自己啓発の機会としても是非ご活用ください。

受講生の声 国家試験 基本情報技術者試験 合格

■基本情報技術者試験講座 受講 小紫 悠生さん
大阪工業大学 工学部 電子情報システム工学科 1年(受講時1年次)

サポートがあり独学では難しいと思い、覚悟の意味も込めて受講しました。学習スケジュールは講師から提示してもらえたため、試験日から逆算して無理のない計画を立てることができました。また、授業での丁寧な説明のおかげで、不明点を残すことなく試験に挑むことができました。就職に必要な知識や技術の習得に活かすとともに、1 ランク上の「応用情報技術者試験」の学習にも活かしていきたいと思えます。本試験はIT エンジニアを目指す方にとっての【登竜門】ですので、突破できるよう対策を万全にして頑張ってください。

お問い合わせ先 資格サポートコーナー 06-6967-9811(大宮直通)
大宮キャンパス:5号館1階 梅田キャンパス:6階 枚方キャンパス:1号館2階

2026年度 教育センターのご案内 教育センターでは、学びに関する悩みの解決をサポートしています。

大学教育は、高等学校までに定められた知識や能力を身に付けていることを前提に、学生の自主性、自律した学修を基本として進めます。しかし、大学入学直後は、これまでの受動的な教育・学習から能動的な学修への切り替わりに戸惑う学生や、「高校で物理を学習する機会がなかった」「数学に苦手分野がある」「数学・物理の基礎をしっかりと勉強しておきたい」などの悩みを抱える学生が多くなります。そのような学生のために、教育センターでは、個別の学習相談の実施や、数学・物理系科目の知識の定着をはかる基礎力向上講座を開講し、専属教員や先輩学生が学生の学びを徹底的にサポートしています。

気軽に相談できる環境を整えていますので、授業で困ったことや不安なことがあれば教育センターを訪ねてください。

■教育センターについて ※大宮:大宮キャンパス、梅田:梅田キャンパス、枚方:枚方キャンパス

開室曜日	(大宮)月～金曜日 (梅田)月～金曜日 (枚方)月・火・木・金曜日 ※曜日・時期によって開室時間が異なります。教育センター内の掲示、HP、ポータルサイトで確認してください。
場所	(大宮)大宮5号館1階(シェアスタ内) (梅田)梅田6階(ラーニング・コモンズ内) (枚方)枚方1号館4階(ラーニング・コモンズ内)
教育センター所属教員	(大宮)数学担当:堂之本 篤弘、中田 裕省、和田 文孝/物理担当:吉田 福蔵、岡村 多加志、平野 裕一 (梅田)数学・物理担当:尾形 健一、物理・電気基礎担当:吉田 福蔵 (枚方)数学担当:岩崎 判二/物理担当:安達 照
実施概要	①個別学習相談 あらかじめ設定された時間を利用して、個別に数学・物理・英語系授業科目の課題や個別の質問などの個人指導・学習相談を行っています。学生個々の習熟度に合わせた指導を受けることができます。大学院進学およびグループでの相談にも応じます。 ②基礎力向上講座 数学・物理系の正課授業科目と連携し、高等学校の復習から授業の内容に沿った演習などを盛り込み、知識を定着させる講座です。 ③夏期集中パワーアップ講座・後期直前数学講座 夏期休業期間を利用し、数学・物理科目の高等学校の復習から後期授業の予習までを盛り込んだ基礎学力を強化する講座です。 ※キャンパスごとに講座名・内容が異なりますので、詳細はポータルサイトを通じてお知らせします。
申込方法	①個別学習相談 直接センターにお越しください。 ※担当教員の待機表、基礎力向上講座の時間割は教育センター内の掲示またはHPにて確認してください。 ※枚方の教育センターでは、1号館1階エントランスでも個別学習相談に応じています。 ②基礎力向上講座 直接指定の教室へ行ってください。申込みの必要はありません。 ③夏期集中パワーアップ講座・後期直前数学講座 所定のWebフォームから申込を受け付けます。 詳細については6～7月頃に、ポータルサイト等を通じてお知らせします。

お問い合わせ先 【大宮】教務課:06-6954-4083 【梅田】ロボティクス&デザイン工学部事務室:06-6147-6830 【枚方】情報科学部事務室:072-866-5301

講座名	2026年度実施時期	
公務員試験対策講座	市役所・警察・消防コース	随時申込可
	技術職コース	
	土木職コース	
	クラブ生対象 教養コース	前期・後期
	2年生対象 基礎力強化コース	後期
Microsoft® Office Specialist講座	SPI・SCOA対策コース	後期
	二次試験対策コース	後期
	Word 365	前期・夏期・後期・春期
	Excel® 365	前期・夏期・後期・春期
	PowerPoint® 365	夏期・春期
TOEIC® LISTENING&READING TEST 対策講座	Word 365 Expert	夏期・春期
	Excel® 365 Expert	夏期・春期
	はじめてのTOEIC®クラス(400点)	前期・夏期・後期・春期
	500点クラス	前期・夏期・後期・春期
ラーニング講座	600点クラス	前期・夏期・後期・春期
	800点クラス	前期・夏期・後期・春期
	ITパスポート試験講座	前期・夏期・後期
	基本情報技術者試験講座	前期・後期
	情報セキュリティマネジメント試験講座	夏期
	ビジネス統計スペシャリスト講座	夏期・春期
	宅地建物取引士試験講座	前期
	ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級講座	前期・後期
	簿記検定 3級講座	前期・夏期・後期・春期
	秘書検定 2級講座	前期・夏期・後期・春期
	色彩検定。2級/3級 講座	前期・夏期
	建築士 一級建築士 基本入門講座/二級建築士 準備講座	前期
	二級建築士 試験対策講座(学科指導/学科+製図指導)	通年
	1級建築施工管理技士 対策講座	前期・後期
	危険物取扱者試験講座(乙種第4類)	夏期・春期
対面講座	ドローン検定(3級対策講座)※大宮キャンパス	夏期・春期
	ドローン検定(3級対策講座・基礎技能講習 併願)※大宮キャンパス	夏期・春期
	設計製図実習講座 ※梅田キャンパス	前期・後期

注1. 開講講座・時期は都合により変更になることがあります。詳しくは資格サポートコーナーまでお問い合わせください。

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学後援会 会報誌



後援会でスーパーボールすくいを出店(城北祭)



2025年10月～11月にかけて、大宮キャンパスでは第77回城北祭が、梅田キャンパスでは第9回茶屋町祭が、枚方キャンパスでは第28回北山祭がそれぞれ開催されました。城北祭においては後援会でスーパーボールすくいを出店し、多くの方々に楽しんでいただきました。売上金については、令和7年大分市佐賀関の大規模火災義援金としてその全額を寄付させていただきました。また、学生団体の各種展示内容について、後援会の役員・委員で審査を行い、優秀団体にはそれぞれ後援会会長賞を呈呈しました。

CONTENTS

- 2 後援会会長挨拶 久保田 雅見 「新たな門出を祝して」
学生対象の「安否確認システム」「保護者ポータル」について
- 3 学長挨拶 井上 晋 「ご子息・ご息女の門出を祝して」
学位記授与式と入学宣誓式のご案内
- 4 2025年度教育懇談会に参加して
- 6 2026年度定期総会と教育懇談会のご案内
2025年度退任役員から
- 7 就職活動本番突入!
- 8 特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました
～これからのシユウカツはインターンシップが大切です～
- 10 2025年度主な就職先(大学院)
- 11 2025年度主な就職先(学部)
- 12 工学部長「大学院進学について」
ロボティクス&デザイン工学部長「大学院進学について」
- 13 知的財産学部長「専門性で将来が広がる:知的財産研究科のすすめ」
- 14 ソーラーカープロジェクト
プリチンワールドソーラーチャレンジ2025 初出場で完走の快挙
- 15 ソーラーカープロジェクト
- 16 キャンパストピックス
資格サポートコーナー～資格対策講座のご案内～、教育センターのご案内

後援会会報
Vol. 77
2026 MARCH

発行
大阪工業大学 後援会
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1
大阪工業大学 学長室庶務課内
☎ 06-6954-4097
✉ OIT.Koenkai@joshu.ac.jp
後援会ホームページ
https://www.oit.ac.jp/japanese/kouen/





大阪工業大学後援会 会長
久保田 雅見

新たな門出を祝して

卒業生・修了生の保護者の皆様、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。後援会一同、心よりお喜び申し上げますとともに、ご入学以来、後援会活動へのご支援ご協力を賜りましたことに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

大阪工業大学で学校生活を過ごし、ご立派に成長されたご子息・ご息女の姿に、ご家族の皆様の喜びもひとしおではないかと拝察いたします。私も保護者の1人として万感せまる思いがいたします。

そして、卒業生・修了生の皆さん、晴れのご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。入学からこの日を迎えるまでの日々は、平坦な道のりではなかったと思います。大阪工業大学では、たくさんの乗り越えるべき課題があり大変なこともあったと思いますが、皆さんの努力の末に乗り越えてこられたのだと思い、その努力に心からの敬意を表しお祝いを申し上げます。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、これから社会へと巣立たれますが、大学で身につけた知識がそのまま活かせるとは限りません。自分の思い描いた通りではなかったり、様々な壁にぶつかることもあると思います。そのような時、皆さんの誇りとして思い出していただきたいのは、「世のため、人

のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」という建学の精神のもと学んでこられた、大阪工業大学の卒業生・修了生であるということです。そして、たくさんの課題を乗り越えてきた自分に自信をもって欲しいと思います。

それでも悩んだ時にはご家族や、会社の同僚や先輩、学生生活で培った友人や先生方、先輩方に相談して欲しいと思います。きっと皆さんにとって良いアドバイスをもらえることでしょう。

人は1人では生きていきません。失敗せずに生きていくこともできません。たとえ失敗したとしてもそこで終わらず、周りの方の力もお借りしながら前に進んでいかなければなりません。周りの方に感謝し大切にすることで、自分のことも大切にいただけるのだと思います。

知識を力に、知恵に変え、他者と共創しながら、より良い社会の実現に貢献されることを期待しています。皆さんの未来が、希望に満ちたものとなりますように願っております。

最後になりますが、今日までご指導ご支援していただきました諸先生ならびに職員の皆様方には、この場をお借りして、心から深く感謝申し上げますとともに、大阪工業大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



大阪工業大学 学長
井上 晋

ご子息・ご息女の門出を祝して

保護者の皆さま、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。努力と経験を積み重ねてこの晴れの日を迎えられました卒業生・修了生諸君に心よりお祝いの言葉をお送りいたします。また、それを支えていただきました保護者の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、心からお喜び申し上げます。

さて、卒業生・修了生諸君は、新型コロナウイルスの影響を少なからず受けて学生生活を送られたかと思います。一方で、このことは既に遠い昔のように感じるほど社会情勢は急速に変化しています。生成AIの普及や物価の上昇といった日常生活環境が大きく変化するなか、学生諸君には、勉学・研究はもちろんのこと、プロジェクト活動や課外活動、学園祭など、それぞれに大きな成果を出していただきました。その過程で得られたさまざまな経験、教職員、知人・友人、先輩・後輩との繋がりを自らの財産として次のステップを踏み出していきたいと思います。教職員一同、ご子息・ご息女の成長の過程に関わることができましたこと、嬉しく感じますとともに、卒業生・修了生諸君が新たな環境で活躍されますことを心より祈念いたします。

保護者の皆様の中には、学園祭をはじめとする各種行事において、学生諸君の日常の成果をご覧いただいた方も

多いかと存じます。また、後援会の皆様にはさまざまな行事にご参加いただき、表彰をはじめとする多くのご支援をいただきました。とくに、後援会定期総会時の個別懇談会や、地方会場を含む秋の教育懇談会を例年どおり実施できたこと、大変ありがたく存じます。これらの行事は保護者の皆さまと教員・大学を繋ぐ極めて重要な行事であると認識し、大学の近況やご子息・ご息女の学修状況等を直接お会いしてお話しできる重要な機会として、今後もその内容の充実に努めてまいります。

本年度は、各種プロジェクト活動や課外活動で学生諸君が極めて優秀な成績を収めてくれました。そのような学生諸君の目は輝き、目的意識をもって事をやり遂げようとする強い意志が感じられました。卒業生・修了生諸君が次のステップにおいてもご活躍されますことを心より祈念いたします。本学は、学生諸君が安心・安全・快適な日常生活を送り、誇りをもって社会へ巣立っていけるような体制づくりに努めますとともに、持続可能な社会の実現に貢献し、地域に根差す関西唯一の理工系総合私立大学としての発展を目指してまいります。今後とも引き続きご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

学生対象の「安否確認システム」について

「安否確認システム」とは、大規模な災害等が発生した際に、メールを利用して学生の安否情報を迅速に収集し、大学や保護者の皆さまへ配信することができるシステムです。

2018年の大阪府北部地震・西日本豪雨、2019年の台風15号・19号など、大きな災害がありました。今後、南海トラフ巨大地震等の発生が予想される中で、保護者の皆さまがご子息・ご息女を安心して大学へ送り出すことができるよう、安否確認システムをご活用ください。

在学生を対象に、本システムを利用した応答訓練を年に数回実施しますので、ご子息・ご息女が積極的に参加するようお願いいたします。

(保護者の皆さまが、ご子息・ご息女からの家族間連絡メール【下表参照】を受信するためには、ご子息・ご息女が安否確認システムのサイトにアクセスし、保護者さまのメールアドレスを登録する必要があります。)

2025年度より「保護者ポータル」運用開始

本学では2025年度より新たな学生情報システムを導入しました。このシステムは大学から保証人の皆様へ情報発信するための「保護者ポータル」という機能を備えており、この機能を用いて学業成績等の情報をお伝えしています。

- 1.「保護者ポータル」で公開する情報**
 - ・学業成績
 - ・出欠状況
 - ・大学からのお知らせ

※2024年度までは学業成績簿を郵送しておりましたが、「保護者ポータル」の導入に合わせて郵送を取り止めました。

※成績照会および出欠状況確認について、学生からの公開不同意の申請があった場合は表示されません。

- 2.「保護者ポータル」の利用案内**

アクセス方法やアカウント情報等の利用案内を、2025年5月頃に保証人様のご住所宛てに郵送しています。

- 3.お問合せ先**

学部・研究科	担当部署	連絡先
工学部・工学研究科 知的財産学部・知的財産研究科	教務課	06-6954-4083
ロボティクス&デザイン工学部・ ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン 工学部事務局	06-6147-6830
情報科学部・情報科学研究科	情報科学部事務局	072-866-5301

学位記授与式と入学宣誓式のご案内

2025年度の学位記授与式が2026年3月25日(水)に、2026年度の入学宣誓式が2026年4月4日(土)に挙行されます。両式典とも全学部・研究科 大宮キャンパス総合体育館にて挙行されます。また、式場の様子はインターネット配信により同時中継されますのでそちらからもご視聴ください。

学位記授与式

日時：2026年3月25日(水) 10:00～10:50(予定)
場所：大宮キャンパス(総合体育館)
対象：全学部・研究科
中継：当日、開始時間10分前から1時間程度(予定)

その他：会場の収容人数と来場者の安全確保の観点から、総合体育館へは式典出席学生のみ入場可能とさせていただきます。保護者の方は、総合体育館にはご入場いただけませんので、あらかじめご承知おください。式典の様子は、保護者専用会場(大宮キャンパス内の教室)にて同時配信映像をご覧いただけます。ただし、教室の席数には限りがありますので、満席になり次第、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。閉式後も大学HP「学位記授与式/入学宣誓式」のページより、YouTube配信いたしますので、ごゆっくりご覧ください。

～卒業記念品について～

卒業生・修了生には今後のご活躍を祈念して、後援会から学部生と大学院生それぞれに大学名を印字した筆記具が記念品として贈られます。

入学宣誓式

日時：2026年4月4日(土) 10:00～10:40(予定)
場所：大宮キャンパス(総合体育館)
対象：全学部・研究科
中継：当日、開始時間10分前から1時間程度(予定)

その他：会場の収容人数と来場者の安全確保の観点から、総合体育館へは式典出席学生のみ入場可能とさせていただきます。保護者の方は、総合体育館にはご入場いただけませんので、あらかじめご承知おください。保護者の方は、保護者専用会場(学科ごとに指定する教室)にて同時配信映像をご覧いただけます。ただし、教室の席数には限りがありますので、満席になり次第、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。閉式後も大学HP「学位記授与式/入学宣誓式」のページより、YouTube配信いたしますので、ごゆっくりご覧ください。

式典の中継映像がインターネットでご覧になれます! 大阪工業大学のトップページ (<https://www.oit.ac.jp/>) 上にありますバナーからお入りください。

2025年度

教育懇談会に参加して

2025年度は10月から12月にかけて、津・岡山・高松・大阪の4都市にて教育懇談会を開催いたしました。

10月～11月の津・岡山・高松および12月の大阪会場（大宮・梅田・枚方）の全会場合わせて449組・649人の保護者の方にご参加いただき、盛況のうちに本年度の教育懇談会を終了することができました。

地方会場に参加された皆さまからのご感想をご紹介します。



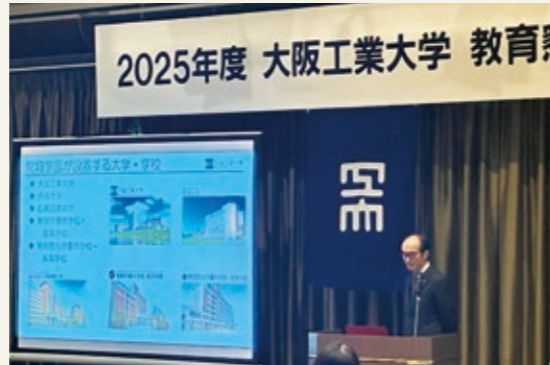
会長挨拶(高松会場)



学校代表(学長)挨拶(高松会場)



教育懇談会の様子(高松会場)



教育懇談会の様子(高松会場)

津会場 情報科学部 ネットワークデザイン学科 2年次

10/12(日) N様

教育懇談会(三重県津市会場)に、夫婦で初めて参加させていただきました。

愛知県在住で、大阪方面は遠いため、隣県の津市での開催は非常にありがたく、参加してみようと思いました。

副学長による大学説明では、常翔学園としての長い歴史と各学部教育環境などについて説明をいただき、高い信頼性を感じることができました。

キャリア支援部からの就職説明会では、学科別に就職支援担当者を配置し、学生一人ひとりに向き合い徹底した個別指導を実施する事に最も力を入れている点が印象的で、その支援の成果として実就職率97.9%という高い成果を得ているのだと納得と安心感を覚えました。

その後の個別懇談では、まず所属学科教員より、現在の単位取得状況や学業の進捗、授業への出席状況について丁寧に説明いただき、3年次への進級に問題はないとおっしゃっていただき安心いたしました。

また、キャリア支援部による就職個別相談では、インターンシップへの参加を積極的に促していること、さらには地元、愛知県の企業へのインターンシップにも対応可能であり企業からの就職案内もあるとの説明を受け、今後の進路選択において柔軟な選択や支援が受けられる点に大変心強さを感じました。

今回の懇談会は、大学の教育方針や支援体制などを直接確認できる貴重な機会となり、非常に有意義な時間を過ごすことができたと同時に子供との将来の話をする方向性を見出すことができました。

岡山会場 工学部 電気電子システム工学科 2年次

11/2(日) N様

息子が大工大へ入学してから約1年半、あまり帰省しないため本人から詳しく大学事情を聞けない中、今回初めての参加で岡山会場へ足を運びました。

説明会では学生生活や就職活動・大学院進学について、非常に丁寧なお話を聞いて参考になりました。また、個別懇談会でも学業成績や授業の出席状況を説明いただき、息子の大学生活を把握できました。ありがとうございました。希望している大学院への進学に関することも相談できてよかったです。就職についてのインターン等も重要であり、本人の意向を尊重した取り組みが必要と感じました。

来年度も日程・会場都合が付きましたら参加したいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



教育懇談会の様子(津会場)

岡山会場 工学部 機械工学科 1年次

11/2(日) F様

映像を用いながら大工大の歴史、理念、その理念の基に学生たちが様々な課題に取り組んでいる様子を見せていただきました。個々の力を十分に発揮できるようチームで行う取り組みは、とても良いと感じました。こうした取り組みが実践力のある学生を育て、社会に出て通用する力を身につけられるのだと思います。これは、親として息子に身につけさせたいと思っていた力でしたので、大工大に入学させて良かったなと思いました。

就職については、キャリア支援課の方から大学でやっておいた方がよいことやインターンシップについて、詳しく教えていただきました。まだ1年生ですが、早くから知ることが多いので、ありがたかったです。また、エントリーシートの作成までも手助けして、最後まで学生に寄り添って就職活動を見守ってくださる手厚いサポートを知り、安心したと同時に大変ありがたく感じております。

このような大工大だからこそ、実就職率が全国第4位という素晴らしい結果を生み出せるのだと感じました。

最後に、ゼミの先生と個別にお話させていただき、気になっていた大学での様子や成績について詳しく知ることができました。息子が頑張っている様子が分かり、なんでも気さくに答えてくださる先生の穏やかな人柄も伝わり、安心致しました。

休日返上でこのような会を開いていただいたこと、大変ありがたかったです。とても有意義な一日となりました。ありがとうございました。



教育懇談会の様子(岡山会場)



個別相談の様子(岡山会場)

高松会場 知的財産学部 知的財産学科 1年次

11/9(日) O様

全体説明会では、時代に合わせて進化する実践的な大学環境や教育、学修・就職支援、地域や企業との連携について知ることができ、大変有意義でした。個人懇談では、知的財産学部での学びが社会に直結していることを改めて実感いたしました。専門性が高く難しい印象のある分野ですが、先生方が実例を交えて理解を深め、学ぶ意欲を引き出してくださっていることに感動いたしました。気になっていた早期履修や資格取得後の進学・就職の選択肢について相談でき、ゼミの先生だからこそ気づいていただけた子どもの変化にも触れて安心いたしました。この大学なら安心してお任せできると感じました。距離が許せば参加をお勧めしたい、大変貴重な機会でした。ありがとうございました。



就職相談の様子(高松会場)

高松会場 工学部 応用化学科 3年次

11/9(日) H様

今回で三回目の参加となります。

総括説明会では大工大の将来を見据えた経営方針、先生や生徒たちの様々な活躍、私たちの時代とは全く違う就活状況、進学など大変興味深く話を聞くことができました。

個別相談では直接ゼミの先生から学校での様子や成績、ゼミの内容や指導方針などをお聞きし、信頼できる先生のお人柄もわかり安心できました。また進学と就職について今後の流れを詳しく教えていただけたことでどちらか決めかねている息子ともスムーズに話ができそうです。

毎年、地方会場での開催ありがとうございます。今回も有意義な機会となりました。これからもご指導よろしくお願いいたします。



就職相談の様子(高松会場)

2026年度

定期総会と教育懇談会のご案内

定期総会

大阪工業大学後援会会則の第10条第2項に基づき、定期総会を毎年6月に開催しています。

定期総会当日は、総会議事のほかにご子息・ご息女の学校生活について教員と直接お話しいただける個別相談の開催を予定しています。

ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況、就職活動の最新情報など有意義な情報を得ていただける機会です。

日 程	2026年6月6日(土)
場 所	本学(大宮キャンパス)
主な議題	2025年度事業報告、2026年度役員選任、 2026年度事業計画、2026年度予算



定期総会後の就職講演



教育懇談会(大阪会場)

教育懇談会

2026年度は、大阪・三重・広島・徳島の計4都市で開催を予定しています。

大学の現状や就職活動の最新情報などを教職員が直接皆さまにご説明申し上げるとともに、ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況について個別に懇談いただけます。

申込方法など詳細については、改めて会員の皆さまにお知らせします。

日程	開催場所	対象学部・研究科	その他
10月～11月にかけての いずれかの日曜日	三重・広島・徳島	全学部、全研究科	学部生/ 大学院生
12月5日(土)	大阪(本学) 【大宮・梅田・枚方】	【大宮】工学部・知的財産学部・工学研究科・知的財産研究科	学部生/ 大学院生
		【梅田】ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科	
		【枚方】情報科学部・情報科学研究科	
			いずれか 1会場を 選択

地方開催会場につきましては、諸事情により変更となる場合がございます。あらかじめ、ご了承くださいませようをお願いいたします。

定期総会および教育懇談会ともに、会員の皆さまにとって有意義な情報を得る機会となっております。是非ご参加ください。

2025年度 退任役員から

早見 文子 顧問

後援会活動を通して保護者の皆様との交流や、学生への教職員方々のきめ細かなサポートに多くのことを学ばせていただいた貴重な時間でした。心より感謝いたします。

大阪工業大学と後援会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

村林 大輔 監事

役員・委員と4年間の中、今年は監事として後援会活動をさせていただきました。学生の方々・保護者の皆様が安心して日々生活出来るよう、どのような活動をすれば良いのかを考える機会をいただけたことにとても感謝しています。短い期間でしたがありがとうございました。

片岡 佳林 監事

高校の役員探しに苦戦していた頃、大学からのご依頼にご縁を感じて参加。後援会活動を通じて、教職員や保護者の皆様と心を通わせた日々は、私の宝物です。感謝の気持ちを胸に、大学の更なる発展をお祈りします。

頼富 真紀 常任委員

活動を通し、教職員皆さまの学校や学生への温かい思いに触れ、親として嬉しく安心しました。役員皆さまとの4年間は、楽しく意義深く、かけがえのない経験となりました。ありがとうございました。

石原 妙子 常任委員

在任中は皆さまのご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。後援会活動を通して、学生の学びと成長を支える意義を改めて実感いたしました。今後は一保護者として大学及び後援会の発展を祈念しております。

酒井 友理子 常任委員

4年間にわたり後援会活動に携わり、多くの学びと出会いをいただきました。貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。大阪工業大学の今後の発展をお祈りいたします。

就職活動本番突入!

キャリア支援部から保護者の皆さまへ

2026年3月に学部・大学院を卒業(修了)する学生に対する大卒有効求人倍率は1.66倍となり、前年より0.09ポイント低下しました。トランプ政権による関税政策の影響や、中国の景気減速と関係悪化、さらにAIの進展による人員削減の動きなどが重なり、大手企業を中心に雇用環境にはやや慎重な姿勢が見られ始めています。

こうした状況にもかかわらず、本学ではすでに多くの学生が内定を獲得しており、工大生は今年も力強い成果を上げており、日々の努力がしっかりと実を結んでいます。

本学の就職率は、全国の大学の中でも常にトップクラスを維持しています。その原動力となっているのが、学生たちにこれまでにない学びをもたらす「教育力」、社会の未来を切り拓く挑戦的な「研究力」、そしてクラブ活動や鳥人間コンテストをはじめとする多彩なプロジェクトに全力で打ち込む中で育まれる揺るぎない人間力です。

本学が掲げる「就職力」とは、単に内定を得るための表面的なテクニックではありません。

それは、面接でうまく話す力でも、エントリーシートを巧みに書く技術でもない。

社会で価値を生み出し、人々と協働し、誰かの役に立ち、未来の一端を担うことができる人間へと成長する力。これこそが、本学の考える“真の就職力”です。「成長こそが、最大の就職力である」と。私たち教職員は、これからも学生の成長に寄り添い、励まし、支え、そして卒業の日まで、情熱をもって伴走し続けます。

キャリア支援部長 阿形 広幸

採用活動の早期化一層進む

2027年3月卒業予定の学生は、すでに就職活動の本番に突入しています。近年では、本格的な就職活動に先立ち、学生が企業で就業体験を行うインターンシップ等への参加が「就職活動の始まり」として位置づけられ、多くの学生が夏期や秋冬のインターンシップに参加しています。企業側のメリットとしては、自社の魅力を十分に伝えられるだけでなく、早期から意欲の高い学生と接触できる点が挙げられます。そのため、インターンシップ参加者に対して早期選考や参加者限定のセミナー・座談会等を実施する企業が増加し、採用活動の早期化がさらに進んでいます。大手就職情報サイトによる2027年卒学生を対象とした採用動向調査では、インターンシップ等の参加者に早期選考を実施した企業は7割を超えており、インターンシップ等から早期選考へとつながる「採用直結型」が広く定着している状況が明らかになっています。また、内々定出しの開始時期についても、3年生の12月までに行う企業が4割に上り、夏のインターンシップ等からの早期選考を通じて、年内に一定数の内々定を確保しておこうとする動きが強まっています。今後も早期化の動きはさらに拡大すると見込まれるため、学生にはより早い段階からの準備がますます重要となっています。

キャリア支援部をフル活用

本学に直接寄せられる求人は、学生一人当たりの求人倍率が30倍を超えており、工大生の採用に対して企業から高い評価をいただいています。キャリア支援部には、各企業の採用スケジュールなどの選考情報に加え、就職情報サイトでは見つけにくい、いわゆる「BtoB企業」と呼ばれる一般にはあまり馴染みのない優良企業の情報が数多く蓄積されています。本学が「就職に強い」と評価されるのは、先輩たちがキャリア支援部の情報をフル活用し、積極的かつ粘り強く就職活動に取り組んできた結果といえます。

2028年卒での就活準備も重要

企業の採用活動が早期化している現在、就職活動準備はますます重要になっています。3年生の4月から始まる就職ガイダンスを皮切りに、夏にはインターンシップでの就業体験、学内合同企業説明会での業界・企業理解、就職模擬テスト・模擬面接、先輩による体験報告会など、さまざまな機会を通して就職活動の基礎力を磨いていきます。インターンシップ等に参加することで、どの業界でどの職種を目指すのか、自分なりの軸を固めておくことが、早期化する企業の採用活動に対応するための重要なポイントとなります。そのためにも、4月からの就職ガイダンスには必ず出席し、インターンシップへ積極的に参加すること、さらにキャリア支援部が実施する各種支援行事に参加することが大切です。スタートダッシュで遅れをとらないよう、保護者の皆さまにおかれましては、ぜひご支援・ご指導を賜れば幸いです。

大学院進学も視野に入れた進路選択

進路の選択肢の一つとして、大学院への進学があります。大学院へ進むことで、大手企業への就職がより有利になる場合があるほか、専門性の高い研究職や高度な技術職を目指す際には、修士課程修了が強みとなるケースも多く見られます。また、給付型の奨学金制度も充実させており、経済的支援を活用しながら学修を深めることも可能です。進路を選ぶ際には、ゼミの指導教員をはじめとする教員とよく相談し、自分の適性や将来像に合った選択をすることが重要です。

特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました ～これからのシュウカツはインターンシップが大切です～

学部3年次、大学院1年次は、いよいよ就職活動が本格化していきます。その就職活動をスムーズに進めていくためにも、就業体験や自分自身の振り返りの機会となるインターンシップへの参加が重要視されています。

そこで、今回、2025年度正課インターンシップ(以下、正課インターン)に参加した学生2名[工学部 都市デザイン工学科 黒田琉汰さん(参加先:建設業)、知的財産学部 知的財産学科 榊原梨乃さん(参加先:商社・卸売業)]に正課インターンの魅力を聞きました。

Q.1 正課インターンに参加しようと思ったきっかけを教えてください。

黒田さん:正課インターンは、自主的に応募するインターンと比べて確実に参加できる点に魅力を感じ、参加を希望しました。また、実際の業務や社員の方との関わりを通して、企業の特徴や働き方への理解を深めたいと思い、そして何より就職活動に向けて自分の適性や将来像を明確にする機会にしたいと思い参加しました。

榊原さん:営業職などのインターンは個人で参加できる機会が多い一方、知的財産分野のインターンは募集自体が少なく、経験を積めるチャンスが限られていると感じていました。しかし、正課インターンで知的財産業務の募集があることを知り、実践的な経験を積める貴重な機会だと感じ参加を決めました。

Q.2 事前学習について、感じたこと、思ったことを教えてください。

黒田さん:事前学習では、インターンに参加する前段階として、就職活動における基本的なマナーや心構え、志の持ち方などについて学ぶ機会が設けられており、挨拶や言葉遣い、時間厳守といった基本的な行動が社会人としていかに重要であるかを改めて実感しました。また、インターンに臨む際には、単に参加するだけでなく、目的意識を持ち、主体的に学ぶ姿勢が大切であることの重要性を学ぶ機会にもなりました。



学生発表を行う黒田さん

事前このような学びを経験できたことで、自分がどのような気持ちでインターンに取り組むべきかが明確になり、不安の軽減にもつながった点で非常に勉強になりました。

榊原さん:事前学習を通して、社会人としてのマナーや、企業の方々がどのような人材を求め、どのような視点で就活生を見ているのかを具体的に知ることができました。時には厳しい言葉をいただく場面もありましたが、自身に足りてない点や今後意識すべき姿勢を明確にする貴重な学びとなりました。また、同じ正課インターンに参加する学生との意見交換を通じて、多様な考え方に触れることができ、とても勉強になりました。

Q.3 事前学習後、正課インターンへの参加までに準備したことを教えてください。

黒田さん:事前学習後は、参加予定の企業についてホームページや資料を確認し、事業内容や強み、業界内での役割などを調べる企業研究を行いました。また、インターンを通して何を学びたいのか、どのような点を理解したいのかを具体的に考え、目的意識を持って参加できるよう準備しました。

榊原さん:事前学習で得た知識を整理し、自分に足りない点やインターンが終わった後にどんな自分になっていたのかを考えました。また、企業の事業内容や技術分野についても事前に調べ、より具体的な視点でインターンに取り組めるように準備しました。

Q.4 正課インターンに参加して苦労した点、うまくいった点、変化した点を教えてください。

黒田さん:インターンに参加して、最も苦労した点は、実践的な知識や経験が十分でなかったため、現場で自分ができることが限られていて、率先して行動することが難しかったことです。業務の流れや専門用語を理解するのも時間がかかり、最初は戸惑う場面が多かったのですが、一方で分からないことをそのままにせず、社員の方に積極的に質問し、教えていただいた点はうまくいったと感じています。その結果、少しずつ業務への理解が深まり、また、インターンを通して、企業や働き方に対する考え方も変化が生まれました。事前に調べるだけでは分からなかった職場の雰囲気や仕事の進め方を実際に知ることができ、働くことへのイメージがより具体的になりました。

榊原さん:フィードバックの時間を設けていただいたのですが、自分が気になっている点や分からないことをどのように分かりやすく伝えるかに悩み苦労しました。また、実際の特許出願の明細書に触れ、文献を真剣に読み込む経験は初めてだったため、文献に書かれている文言などを理解するまでに時間がかかり



学生発表を行う榊原さん

ました。インターンで経験したことの多くが初体験で戸惑う場面もありましたが、その分、自身の課題を自覚し、質問する姿勢の大切さを学ぶことができました。この経験を通して、主体的に学び、相手に伝える力の重要性を実感しました。

Q.5 正課インターンを通して学んだ点を教えてください。

黒田さん:正課インターンを通して、実際に現場で働くことで初めて感じられることや理解できることが多くあると学びました。企業研究や説明会では仕事内容を知ることはできても、業務の進め方や職場の雰囲気、働く中で求められる姿勢までは十分に理解できないことを実感したからです。実際に業務に関わることで、自分がその仕事に興味を持って取り組めるのか、また自分に適性があるのかを判断するには、実際に働く経験が最も重要であると感じました。さらに、働くことには責任が伴い、決して楽なことばかりではない一方で、その分達成感ややりがいを感じられる場面も多いことを学ぶことができました。この経験は、今後の進路を考える上で大きな学びとなりました。

榊原さん:正課インターンでは、学校のテキストで学ぶ知識だけでは不十分で、実務では判例などの具体的な事例を踏まえた理解が不可欠であることを学びました。知的財産分野では、制度の表面を知るだけでなく、その背景や判断の積み重ねを理解する重要性を実感しました。また、業務面だけでなく、就職活動を進める上で自分自身の軸を持つことの大切さについても教えていただきました。知識の習得だけではなく、将来を見据えてどのように考えていくべきかを意識するようになった点が、大きな成長だと感じています。

Q.6 正課インターンに参加して、就職活動に活かした点を教えてください。

黒田さん:自分がどのような仕事に興味を持ち、将来どのような進路に進みたいのかを具体的に考えるきっかけとなりました。実際に現場で働く経験をしたことで、自分の考えが現実的なものとなり、進路選択への迷いが減りました。また、社会の中で働くイメージを持てたことで、就職活動に対して前向きに取り組めるようになり、自信にもつながりました。

榊原さん:様々な業種や職種があるなかで、経験していないのに自分の向き不向きを決めるのはもったいないと思いました。正課インターンシップで実際に知的財産の仕事について経験できたからこそ、就職活動の選択肢を広げたり、狭めたりすることができるのではないかと感じています。

Q.7 後輩たちに向けてメッセージをお願いします。

黒田さん:就職活動に対して、不安や疑問を感じる方も多いと思います。企業研究や説明会で情報を集めることも大切ですが、インターンに参加することで、実際の職場の雰囲気や働き方を肌で感じることができます。また、現場で直接話を聞くことで理解が深まり、今後の進路を考える上で参考になると思います。

榊原さん:就職活動を考えるうえで、経験する前から自分の向き不向きを決めてしまうのは、とてももったいないことだと思います。少しでも興味がある分野や機会があれば、ぜひ積極的にインターンに参加してみてください。その経験が、将来の選択肢や自分自身の軸を見つけるきっかけになると思います。

2026年度 正課インターンシップ「事前ガイダンス」のお知らせ

本学の正課インターンシップを履修するためには、以下の事前ガイダンスに出席する必要があります。学生自身がナビサイト等を通じて、自分で申し込む公募制インターンシップ参加希望者は、出席する必要はありません。

●**対象学年** 学部3年次、大学院1年次
(工学部、工学研究科、ロボティクス&デザイン工学部、ロボティクス&デザイン工学研究科、知的財産学部)

●**事前ガイダンス内容**
正課インターンシップの概要説明、正課インターンシップ申込方法、スケジュール、遵守事項についての説明

●**実施日時**
○2026年3月18日(水) 14:30~15:10 大宮キャンパス331教室
○2026年3月19日(木) 11:30~12:10 梅田キャンパス1105教室
○2026年3月19日(木) 14:30~15:10 大宮キャンパス331教室
○2026年3月19日(木) 16:45~17:25 大宮キャンパス331教室
○2026年3月25日(水) 13:30~14:10 大宮キャンパス231教室
※いずれの日程も同じ内容ですので、都合のよい日程で出席してください。
※事前ガイダンスへの出席がない場合、このインターンシップに申し込みをすることはできません。
(複数日開催しますので、追加ガイダンスは実施しません。)

工学研究科

建築・都市デザイン工学専攻
都市デザイン工学コース

- 西日本高速道路(株)
- パシフィックコンサルタンツ(株)
- (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル
- (株)パスコ
- (株)エイト日本技術開発
- アジア航測(株)
- 中央コンサルタンツ(株)
- 中央復建コンサルタンツ(株)
- 川田工業(株)
- 日本フアブテック(株)
- 協和設計(株)
- 長岡京市役所

建築・都市デザイン工学専攻
建築学コース

- 大成建設(株)
- (株)大林組
- (株)竹中工務店
- 五洋建設(株)
- (株)フジタ
- (株)熊谷組
- 高松建設(株)
- ピーエス・コンストラクション(株)
- (株)日本設計
- (株)梓設計
- (株)類設計室
- (株)安井建築設計事務所
- (株)シェルター
- (株)エヌ・シー・エヌ
- JR西日本SC開発(株)

電気電子・機械工学専攻
電気電子工学コース

- 三菱電機(株)
- オムロン(株)
- セイコーエプソン(株)
- 東レ(株)
- HOYA(株)
- ダイハツ工業(株)
- ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
- 日本電気硝子(株)
- (株)イシダ
- ミネベアミツミ(株)
- 富士電機(株)
- (株)SCREENホールディングス
- (株)三菱地所設計
- (株)ダイヘン
- シャープ(株)

電気電子・機械工学専攻
機械工学コース

- トヨタ自動車(株)
- 本田技研工業(株)
- 日産自動車(株)
- マツダ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- スズキ(株)
- ダイハツ工業(株)
- (株)デンソー
- ダイキン工業(株)
- (株)村田製作所
- パナソニック(株)
- 日立建機(株)
- TDK(株)
- NTN(株)
- ヤンマーホールディングス(株)

化学・環境・生命工学専攻
応用化学コース

- 三菱電機(株)
- 日本化薬(株)
- 東京応化工業(株)
- ニチコン(株)
- ニッタ(株)
- 三機工業(株)
- 石原産業(株)
- (株)MARUWA
- (株)PILLAR
- 東洋炭素(株)
- サカタインクス(株)
- 日本カーバイド工業(株)
- TOA(株)
- (株)ジェイテクトサーモシステム
- ナガセケムテックス(株)

化学・環境・生命工学専攻
環境工学コース

- 三菱自動車工業(株)
- 水ing(株)
- カナデビア(株)
- (株)西原環境
- (株)パスコ
- クボタ環境エンジニアリング(株)
- 丸一銅管(株)
- (株)アルプスアルパイン
- 第一稀元素化学工業(株)
- 共和化工(株)
- (株)リンカイ
- オリジナル設計(株)

化学・環境・生命工学専攻
生命工学コース

- フジッコ(株)
- 富士フィルム和光純薬(株)
- 朝日インテック(株)
- ニプロファーマ(株)
- (株)ジェイ・エム・エス
- TOA(株)
- 富士ソフト(株)
- 寺崎電気産業(株)
- フクシマガリレイ(株)
- (株)カインス
- Orbray(株)
- (株)アナテック・ヤナコ

ロボティクス&デザイン工学研究科

ロボティクス&デザイン工学専攻
ロボティクスコース

- トヨタ自動車(株)
- 本田技研工業(株)
- ダイハツ工業(株)
- (株)日立製作所
- 三菱重工業(株)
- 三菱電機(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- (株)ダイフク
- (株)デンソーウェーブ
- デンソーテクノ(株)
- ミネベアミツミ(株)
- ヤンマーホールディングス(株)
- (株)瀧山製作所
- グローリー(株)
- 富士通Japan(株)

ロボティクス&デザイン工学専攻
システムデザインコース

- トヨタ自動車(株)
- ダイキン工業(株)
- LINEヤフー(株)
- 東日本電信電話(株)
- (株)NTTデータSBC
- 住友電工情報システム(株)
- コベルコシステム(株)
- パーソルAVCテクノロジー(株)
- (国研)情報通信研究機構
- (株)とめ研究所
- カコムス(株)

ロボティクス&デザイン工学専攻
プロダクトデザイン・建築デザインコース

- 鹿島建設(株)
- セイコーエプソン(株)
- (株)大建設
- (株)坂倉建築研究所
- (株)山田総合設計
- (株)プランテック
- 旭ビルウォール(株)
- (株)アテックス

情報科学研究科

情報科学専攻

- ソニー(株)
- NTT東日本(株)
- 富士通(株)
- (株)デンソー
- 三菱電機(株)
- 大同生命保険(株)
- TOPPAN(株)
- セコム(株)
- (株)日立ソリューションズ
- 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- ネットワンシステムズ(株)
- シャープ(株)
- 三菱電機デジタルイノベーション(株)
- 島津システムソリューションズ(株)
- NRIネットコム(株)

知的財産研究科

知的財産専攻

- ダイキン工業(株)
- 三菱電機(株)
- ヤンマーホールディングス(株)
- ミネベアミツミ(株)
- 山崎製パン(株)
- (株)シマノ
- TOWA(株)
- 上新電機(株)
- パナソニックハウジングソリューションズ(株)
- スター精密(株)
- 不二サッシ(株)
- 矢崎総業(株)
- 大和製罐(株)
- ヌヴォンテクノロジージャパン(株)
- 日本地工(株)

工学部

都市デザイン工学科

- 大成建設(株)
- (株)大林組
- (株)竹中工務店
- 戸田建設(株)
- 前田建設工業(株)
- (株)オリエンタルコンサルタンツ
- セントラルコンサルタント(株)
- 大阪府庁
- 大阪市役所
- 神戸市役所
- 五洋建設(株)
- (株)熊谷組
- 西松建設(株)
- 三井住友建設(株)
- 三重県庁
- 和歌山県庁
- (株)NIPPO
- (株)奥村組
- 東亜建設工業(株)
- 川崎地質(株)

建築学

- (株)大林組
- 清水建設(株)
- 大成建設(株)
- (株)竹中工務店
- 大和ハウス工業(株)
- 積水ハウス(株)
- 住友林業(株)
- (株)長谷工コーポレーション
- (株)熊谷組
- 京都府庁
- (株)安藤・間
- 西松建設(株)
- (株)乃村工務社
- (株)佐藤総合計画
- 奈良県庁
- 前田建設工業(株)
- (株)フジタ
- (株)一条工務店
- 高砂熱学工業(株)
- 三協立山(株)

機械工学科

- ダイキン工業(株)
- スズキ(株)
- ダイハツ工業(株)
- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- 阪急電鉄(株)
- 近畿日本鉄道(株)
- DOWAホールディングス(株)
- タカラスタンダード(株)
- カワサキモーターズ(株)
- Astemo(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- ANAベースメンテナンステクノクス(株)
- タイガー魔法瓶(株)
- グンゼ(株)
- (株)栗本鐘工所
- (株)きんでん
- 住友電設(株)
- タキロンシーアイ(株)
- (株)京都製作所
- (株)三社電機製作所

電気電子システム工学科

- 三菱電機(株)
- 関西電力(株)
- NTT西日本(株)
- 清水建設(株)
- 西日本旅客鉄道(株)
- 近畿日本鉄道(株)
- (株)GSユアサ
- 日東電工(株)
- 富士ソフト(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- (株)東光高岳
- ヤンマーエネルギーシステム(株)
- (株)関電工
- 住友電設(株)
- ダイダグ(株)
- (株)エネゲート
- 栗原工業(株)
- 関西エアポート(株)
- (株)京都製作所
- 大阪モノレール(株)

電子情報システム工学科

- 関西電力(株)
- アクセンチュア(株)
- スズキ(株)
- 日東電工(株)
- 山崎製パン(株)

- 日本コムシス(株)
- Sky(株)
- (株)オプテージ
- グローリー(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- アイコム(株)
- ニチコン(株)
- トレックス・セミコンダクター(株)
- NECプラットフォームズ(株)
- (株)日立情報通信エンジニアリング
- (株)きんでん
- (株)関電工
- 住友電設(株)
- カワサキモーターズ(株)
- 寺崎電気産業(株)

応用化学科

- 太平洋セメント(株)
- 積水化成品工業(株)
- 日本郵便(株)
- 声森工業(株)
- 近畿日本鉄道(株)
- ホソカワミクロン(株)
- エスケー化研(株)
- (株)呉竹
- 東大阪市役所
- 大成化工(株)
- 日本電設工業(株)
- (株)関電パワートテック
- TOA(株)
- 紀伊産業(株)
- ミツ星ベルト(株)
- 日本電子材料(株)
- 東洋クロス(株)
- 大和製衡(株)
- 東洋熱工業(株)

環境工学科

- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- カナデビア(株)
- 南海電気鉄道(株)
- (株)関電エネルギーソリューション
- (株)日水コン
- 月島JFEアグアソリューション(株)
- (株)サクラ
- 大阪市役所
- 京都市役所
- 大阪広域水道企業団
- 日本水工設計(株)
- 住友電設(株)
- クボタ環境エンジニアリング(株)
- パナソニック環境エンジニアリング(株)
- クリアウォーターOSAKA(株)
- 日鉄テックスエンジ(株)
- (株)丸島アグシステム
- (株)三水コンサルタント
- 枚方市役所
- 明石市役所

生命工学科

- 大塚製薬(株)
- 山崎製パン(株)
- 丸大食品(株)
- (株)福寿園
- 西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
- 近畿日本鉄道(株)
- ニプロファーマ(株)
- 日本コムシス(株)
- (株)ノーリツ
- 堺市消防局
- 日鉄物流(株)
- (株)イシダ
- (株)生活品質科学研究所
- (株)エヌアイデイ
- 大和製衡(株)
- シノフーズ(株)
- プライムデリカ(株)
- マリンフード(株)
- グリコマニュファクチャリングジャパン(株)
- 共栄フード(株)
- 皇漢堂製薬(株)

ロボティクス&デザイン工学部

ロボット工学科

- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- 関西電力送配電(株)
- 三菱自動車工業(株)
- ダイハツ工業(株)
- コニカミルタジャパン(株)
- 山崎製パン(株)
- (株)ダイフク
- シャープ(株)
- ニチコン(株)
- 村田機械(株)
- (株)エクセディ

- (株)ツバキ・ナカシマ
- 三菱電機ビルソリューションズ(株)
- 日新電機(株)
- 東光電気工事(株)
- (株)ダイキンアプライドシステムズ
- (株)システナ
- 富士フィルムソフトウェア(株)
- (株)フジキン
- (株)京都製作所

システムデザイン工学科

- ダイキン工業(株)
- ダイハツ工業(株)
- (株)ゼンリン
- (株)オカムラ
- 沖電気工業(株)
- フジテック(株)
- (株)大塚商会
- 富士ソフト(株)
- (株)アルファシステムズ
- NSW(株)
- パナソニックEWエンジニアリング(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)JR西日本ITソリューションズ
- エスセイ情報システム(株)
- (株)SCREEN SPEサービス
- NTTアドバンステクノロジー(株)
- (株)カナデビアエンジニアリング
- 丸紅I-DIGIOホールディングス(株)
- ジョンソンコントロールズ(株)
- フェンリル(株)

空間デザイン学科

- 清水建設(株)
- 積水ハウス(株)
- 住友林業(株)
- (株)LIXIL
- YKK AP(株)
- (株)乃村工務社
- (株)スペース
- 五洋建設(株)
- 高松建設(株)
- パナソニックホームズ(株)
- (株)一条工務店
- 三井ホーム(株)
- (株)大気社
- 東洋製罐グループホールディングス(株)
- 積水ハウスリフォーム(株)
- (株)飯田産業
- 旭化成リフォーム(株)
- 生和コーポレーション(株)
- (株)ジェイアール西日本ビルト
- コマニー(株)

情報科学部

データサイエンス学科

- (株)オプテージ
- (株)セブンイレブン・ジャパン
- ニチコン(株)
- グローリー(株)
- 京セラコミュニケーションシステム(株)
- (株)日立情報通信エンジニアリング
- 日鉄物流(株)
- 日新イオン機器(株)
- 三菱電機デジタルイノベーション(株)
- ベース(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- NECネクサソリューションズ(株)
- エクシオ・デジタルソリューションズ(株)
- (株)菱友システムズ
- (株)エヌアイデイ
- トヨタテックニカルティベロップメント(株)
- 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
- (株)コンテック
- (株)アイル
- (株)ダイハツビジネスサポートセンター
- TISソリューションリンク(株)

情報知能学科

- 三菱電機(株)
- (株)ディー・エヌ・エー
- (株)カプコン
- (株)オプテージ
- (株)インテック
- Sky(株)
- 大同生命保険(株)
- (株)京都銀行
- (株)島精機製作所
- 近畿産業信用組合
- DAIKEN(株)
- トランスコスモス(株)
- (株)デンソーテン
- 富士通ネットワークソリューションズ(株)
- リコージャパン(株)
- ソレキア(株)
- 三菱電機デジタルイノベーション(株)

- クオリカ(株)
- (株)内田洋行ITソリューションズ
- (株)オージス総研

情報メディア学科

- 日本放送協会
- 関西電力(株)
- 東京地下鉄(株)
- Sky(株)
- (株)JVCケンウッド
- 太陽生命保険(株)
- (株)大塚商会
- (株)シーイーシー
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- キャノンITソリューションズ(株)
- (株)デンソーテン
- トランスコスモス(株)
- キャノンマシナリー(株)
- (株)グレスコ
- リコージャパン(株)
- 日本電子計算(株)
- (株)システナ
- 近鉄ケーネットネットワーク(株)
- (株)堀場エステック
- (株)NTTデータ関西

情報システム学科

- 関西電力(株)
- (株)オプテージ
- (株)NTTデータ関西
- (株)NTTデータ先端技術
- 富士ソフト(株)
- (株)サトー
- (株)NTTデータ関西
- (株)NTTデータ先端技術
- 富士ソフト(株)
- YKK AP(株)
- (株)乃村工務社
- (株)スペース
- 五洋建設(株)
- 高松建設(株)
- パナソニックホームズ(株)
- ユニテックス(株)
- 住友電工システムソリューション(株)
- (株)内田洋行ITソリューションズ
- NECフィールディング(株)

ネットワークデザイン学科

- (株)オプテージ
- (株)インターネティク・アジアティブ
- 富士ソフト(株)
- ネットワークシステムズ(株)
- 日本コムシス(株)
- (株)NSD
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)デンソーテン
- セーレン(株)
- 近畿産業信用組合
- GMOサイバーセキュリティ by エイワ(株)
- NTTアドバンステクノロジー(株)
- 京セラコミュニケーションシステム(株)
- (株)日立情報通信エンジニアリング
- 日鉄物流(株)
- 三菱電機デジタルイノベーション(株)
- (株)エネゲート
- ベース(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- NECネクサソリューションズ(株)
- エクシオ・デジタルソリューションズ(株)
- (株)菱友システムズ
- (株)エヌアイデイ
- トヨタテックニカルティベロップメント(株)
- 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
- (株)コンテック
- (株)アイル
- (株)ダイハツビジネスサポートセンター
- TISソリューションリンク(株)

知的財産学部

知的財産学科

- マツダ(株)
- ダイハツ工業(株)
- 積水ハウス(株)
- アイリスオーヤマ(株)
- シャープマーケティングジャパン(株)
- コクヨマーケティング(株)
- 富士フィルムメディカル(株)
- ヌヴォンテクノロジージャパン(株)
- 東リ(株)
- (株)阿波銀行
- (株)中電工
- (株)奥村組
- 日立グローバルライフソリューションズ(株)
- 大阪シティ信用金庫
- 京都信用金庫
- (株)かんでんエンジニアリング
- DAIKEN(株)
- (株)立花エレテック
- JR西日本電気システム(株)
- 三浦工業(株)

工学部

Faculty of
Engineering

大学院進学について

工学部長・工学研究科長 上辻 靖智



大学院工学研究科では、工学部の8つの学科に対応して、建築・都市デザイン工学専攻に2コース(A16.3%, C15.4%)、電気電子・機械工学専攻に3コース(E18.4%, D21.5%, M38.7%)、化学・環境・生命工学専攻に3コース(K30.2%, V19.7%, U34.9%)を設置し、修士課程と博士課程を設けております。()内の数字は、2024年度卒業生数に対する修士課程への進学率です。業種によっても異なりますが、修士課程の修了者を求める企業も多く、進学率も増加傾向にあります。

工学部の1年生から3年生に専門基礎を学び、4年生からの研究室活動において専門知識の実践応用力が養われるほか、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで協働する力、コミュニケーション力、リーダーシップ力が鍛えられます。卒業生からも「自分の成長において研究室活動が最も役に立った」との声をよく耳にします。大学院進学によって研究室活動がさらに充実し、その効果が企業にも高く評価されております。工学部では、この成長をさらに大きくするため、関西の近隣大学に先駆けて学部・大学院6年間一貫クラス/コース(学科に応じて独自の名称と学生選抜で運営)を開設しております。少人数指導のほか、卒業研究の早期着手、工学部4年生での大学院授業の先取り履修などを実現し、大学院での研究室活動時間を十分に確保し、成長の機会を拡充しております。さらに、学内進学者を対象とした入学前予約採用型給付奨学金など経済的な支援も手厚くなっております。後援会の皆様には、高い目標に向かって大学院進学を目指すご子息・ご息女のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ロボティクス
&デザイン
工学部Faculty of
Robotics
and
Design

大学院進学について

ロボティクス&デザイン工学部長・
ロボティクス&デザイン工学研究科長 倉前 宏行

持続可能で豊かな社会の実現には、工学を基盤とした多様な課題解決が不可欠です。本学大学院ロボティクス&デザイン工学研究科博士前期課程(修士課程)には、学部3学科に対応するロボティクス、システムデザイン、空間デザインの3つのコースを設置しています。本研究科では、実世界の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、工学的な知識・技術を活用して持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成しています。

大学院においては、専門的な授業に加え、教員の指導のもと、企業との共同研究への参画や研究成果を国際会議や学会で発表することにより、専門知識にとどまらず、論理的思考力、課題解決力、発信力を兼ね備えた高度なエンジニアやデザイナーへと成長していきます。2025年の大阪・関西万博においては、大学院生が研究開発した成果を展示・紹介しました。また、エヌビディア合同会社との包括連携協定のもと、本研究科の大学院生が学生アンバサダーとして活躍しています。こうした大学院における実践的な学びは、修了後の進路の選択肢を大きく広げます。ぜひ大学院進学をご検討いただければ幸いです。

情報
科学部Faculty of
Information
Science and
Technology

大学院への進学について

情報科学部長・
情報科学研究科長 椎原 正次

社会生活および企業経営において情報科学に対する期待は、ますます膨らんでいます。例えば、政府が提唱しているSociety 5.0の実現には、AI、データサイエンス、情報システム、セキュリティ、メディア、実世界情報などの技術が欠かせません。そのため、社会や企業の課題解決を担う人材に対する要望は非常に大きく、大学院教育の重要性はより高くなっています。

学部と大学院を通じた6年間の一貫教育の魅力は、身につけた専門知識を活用して新しい価値を創造し、それを実現する能力が養われることにあります。

情報科学部では、多岐にわたる情報技術に関する基礎教育を受け、ソフトウェア開発能力を身に付けます。そして情報科学研究科に進学した大学院生は、オリジナリティあふれる修士研究に取り組み、その成果を国内学会や国際会議で発表しています。さらに、企業や行政との共同研究、学部生とチームを組んで産官学地域課題解決型プロジェクト(ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ)にも取り組んでいます。枚方キャンパスには、実践的な教育・研究のための国内最大級の実証実験空間であるDXフィールドだけではなく、さまざまな研究設備が充実しています。研究だけではなくプロジェクト活動を通じて論理的思考能力、学習持続能力、問題発見とその解決能力が磨かれます。

大学院への進学によって高度な情報技術職へのご子息・ご息女の可能性が大きく広がります。卒業後の進路をご検討されると、まず、大学院への進学からお考えいただくことをお勧めします。

知的財産
学部Faculty of
Intellectual
Property

専門性で将来が広がる:知的財産研究科のすすめ

知的財産学部長・
知的財産研究科長 五丁 龍志

近年、AIをはじめとする技術革新と国際競争の進展に伴い、技術やアイデアを「知的財産(知財)」として適切に保護し、戦略的に活用する重要性は一層高まっています。優れた成果であっても、特許等により権利化されなければ模倣を招きやすく、研究開発の努力が十分に報われないことも少なくありません。知財は、企業の競争力と成長を支える基盤であり、社会に価値を確実に届ける要となります。

本学では、知的財産学部で学んだ知的財産の基礎知識を知的財産研究科(専門職大学院)で深めるのみならず、工学部・ロボティクス&デザイン工学部・情報科学部で培った技術者としての素養に、知財の専門知識・スキルを掛け合わせる進路も有意義です。実務の現場では、発明の発掘、権利化、契約・交渉、事業戦略との連動まで、領域横断の判断力と実行力が求められます。本研究科では、ケースメソッドを中心とした実践的学修を通じて、知財を「守り」にとどめず「攻めの経営資源」へと転換し、社会実装へつなげる力を養います。技術×知財の掛け合わせこそが、これからの時代を生き抜く最強の武器となります。

学部で培った力を確かな実践力へと磨き上げる機会として、本研究科での学びに挑戦されることを期待します。

大阪工業大学ソーラーカープロジェクト

ブリヂストン・ワールドソーラーチャレンジ2025 初出場と完走の快挙 世界最高峰の舞台に挑戦

大阪工業大学ソーラーカープロジェクトチームは、2025年8月18日から31日にかけてオーストラリアで開催された「ブリヂストン・ワールドソーラーチャレンジ(BWSC)」に初めて出場しました。北部の都市ダーウィンからアデレードまで約3,000kmを縦断するこの大会は、世界の大学・研究機関・企業が最新技術と情熱を注ぐソーラーカーレースの最高峰です。

本学チームは初参戦ながらも、世界中から集まった名門チームと熱いレースを展開し、初出場にして完走という快挙を成し遂げました。



「ブリヂストン・ワールドソーラーチャレンジ2025」への挑戦については、大阪工業大学のホームページの特設サイトで、より詳しくご紹介しています。下記のQRコードからご覧ください。



8月24日 レースDay1 — 波乱の幕開け、チームワークで乗り切る

7時にはスタートラインであるダーウィンのFestival Lawnに到着しマシンのセッティングを開始しました。ところが、電源が入らないアクシデントが発生。前日の夜に行ったチェックでは問題なかったことからチームメンバーは改めて原因特定のための再チェックを実施しました。その結果、問題はバッテリーに繋いでいるパーツの作動不良であることを突き止め、現場にて緊急の修復を行い、何とか出走できる状態にしました。予定していた出走時間から遅れてのスタートになり、タイムロス余儀なくされましたが、ここでもチームワークで困難を乗り越えることができました。

8月25日 レースDay2 — バッテリーを味方に、走行距離549kmを達成

大会2日目となるこの日、チームは夜明けとともに活動を開始しました。6時15分、厳重に保管されていたバッテリーが大会オフィシャルスタッフにより開封されると、メンバーらは朝日を浴びながらソーラーパネルを太陽の方向へ傾け、充電作業を開始。エネルギーを蓄えたマシンは、午前8時の号砲とともに力強く車道へと走り出しました。前日のレースでは一部のパーツが加熱による動作不良を起こし、十分なバッテリー残量を確保できないまま終えるという課題がありました。しかし、この日はファーストドライバー宮大岳さん(電気電子・機械工学専攻 博士前期課程2年)を皮切りに、保積昂明さん(機械工学科3年)、齋藤陽人さん(同)、三林優作さん(同2年)が次々とドライバーを務め、太陽光を最大限に生かした効率的な走行を徹底。その結果、前日を上回る549kmを走破し、完走条件である「1日500km」をしっかりとクリアしました。

8月26日 レースDay3 — 561kmを走破、折り返し地点を通過

この日も早朝からバッテリー充電を行い、順調にスタートしました。レース3日目にあたるこの日は、大きなトラブルもなく走行を重ねることができ、最終的に561kmを走破。これまでで最長の距離を記録し、確実に完走への歩みを進めました。

キャンプ地はオーストラリア中央部の都市アリススプリングスを越えた地点。ここからは強い風や曇天が予想され、走行条件はより厳しくなります。一方で、下り勾配の多いルートもあり、今まで以上に緻密なエネルギー管理が求められます。

すでにリタイアするチームや、制限時間内にコントロールストップを通過できないチームが出始める中、本学チームは小さなミスはあるものの安定した走行を実現。メンバーらは怪我や体調不良もなく、見つけたトラブルやミスに迅速に対処しながら、ただひたすらに前へ進みます。

ソーラーカープロジェクトを牽引している伊與田宗慶准教授(機械工学科)は「保護者の皆さんに、この生き生きと挑戦する姿を見せてあげたい。教育の場に携わる者として、現地で学生の成長を間近に見守ることができる喜びはひとしおです」と、満天の星々の下でその思いを噛みしめました。

8月27日 レースDay4 — 571kmを走破、累計2,178kmに到達

大会4日目となるこの日も、チームは早朝から順調にスタートしました。エネルギー管理を担当する中辻真人さん(電気電子・機械工学専攻 博士前期課程1年)の的確な判断と指示のもと、走行距離を着実に伸ばし、最終的には571kmを記録。累計走行距離は2,178kmに達し、ゴールに向けて大きな前進を遂げました。

アリススプリングスを越えて以降は風が強くなり、曇天がかかりやすい厳しい地域に突入しましたが、この日は幸運にも快晴に恵まれ、序盤は穏やかな風の中で快適に走行。夕方には風が強まりましたが、大きな影響を受けることなく一日を走り切りました。

8月28日 レースDay5 — 荒天への備え、ゴール前夜の緊張

前日、チームはコントロールストップ地点であるクーパーペディでレースを終えました。4日ぶりに宿泊施設で夜を明かすことができ、チームメンバーは久々のシャワーと人里でリフレッシュしました。朝、気持ちを新たにレースを再開したチームは、昼頃には次のコントロールストップ地点グレンダンボに到着。ここまでは順調でしたが、午後から一転、厳しい環境に直面します。空は厚い雲に覆われ、日差しが遮られたことで発電量が大幅に低下。さらに南下するにつれて強い横風が吹き荒れ、巨大なロードトレインが隣を通過するたびに、マシンは大きく揺さぶられました。ドライバーを務めたメンバーらは、想像以上の体力と精神力を削られる一日となりました。アデレード近郊では翌日以降さらに悪天候が予想され、次のコントロールストップ地点ポートオーガスタは大雨との情報も入っていました。そのため、この日は無理をせず、比較的天候の穏やかな地点で早めに走行を切り上げ、太陽が出ているエリアで充電に十分な時間を費やすという戦略を選択。結果として5日目の走行距離は503kmと前日より少なくなったものの、これはあくまで先を見据えた冷静な判断でした。

いよいよ翌日、アデレードのゴール地点が目前に迫ります。学生の中には「もう泣きそう」という声も聞かれるほど、緊張と期待が高まっていました。それでも彼らは夜遅くまで翌日の準備に余念がなく、最後の瞬間まで気を抜かず、できる限りの準備を行い、翌日の走行に備えます。

8月29日 レースDay6 — 暴風を越えて、涙のゴールへ

ついにゴールを目前にした最終走行日。早朝、チームは暴風雨の気配漂う地域の手前からスタートしました。幸いにして太陽光による発電は可能な日照量で、可能な限り充電を確保してからの出発となりました。しかし、南下するにつれて状況は一変。アデレードに近づくほどに目まぐるしく天気に移り変わり、雨と風は猛烈に吹き荒れ、マシンは横風に煽られて脱線寸前に追い込まれる場面もありました。

そんな極限の環境の中でも、メンバーらは冷静さを失いませんでした。バッテリー残量には余裕があり、速度を上げることも可能でしたが、チームは「安全第一」「完走優先」を選択。周囲のチームが次々とリタイアしていく状況を踏まえ、順位を競うよりも最後まで走り抜くことを最優先にしました。

「まだか、まだか」—サポートカーからの無線やYouTubeのライブ配信で、仲間たちや応援者の声が重なり合う中、ようやくアデレードの街が視界に入りました。市街地では信号や交通の制約もあり、最後まで気の抜けない走行が続きましたが、ついに本学のソーラーカーはフィニッシュストップに到達。大阪工業大学ソーラーカープロジェクトは、今大会最後の完走チームとして、歴史にその名を刻みました。

